

製品名: DIO3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09985**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	31kDa

抗原情報

遺伝子名	DIO3
別名	DIO3; ITDI3; TXDI3; Type III iodothyronine deiodinase; 5DIII; DIOIII; Type 3 DI; Type-III 5'-deiodinase
遺伝子 ID	1735.0
SwissProt ID	P55073
免疫原	抗血清はヒト DIO3 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 17-66

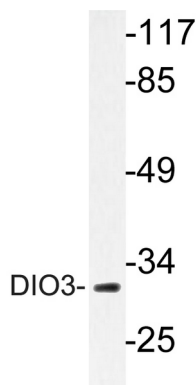
背景

このイントロンを含まない遺伝子によってコードされるタンパク質は、ヨードチロニン脱ヨージナーゼファミリーに属します。この

酵素は、プロホルモンであるチロキシン (T4) と生理活性ホルモンである 3,3',5'-トリヨードチロニン (T3) の内環脱ヨード化によって甲状腺ホルモンの不活性化を触媒し、それぞれ不活性代謝物である 3,3',5'-トリヨードチロニン (RT3) と 3,3'-ジヨードチロニン (T2) を生成します。この酵素は、妊娠子宮、胎盤、胎児および新生児組織で高発現しており、発達中の胎児組織が成人レベルの甲状腺ホルモンに早期に曝露されるのを防ぐと考えられています。この酵素は胎児の循環甲状腺ホルモン濃度を調節し、哺乳類の発生において重要な役割を果たします。この遺伝子を欠損したノックアウトマウスは、発生および生殖に関連する異常を示し、血管腫を有する乳児におけるこの酵素の活性上昇は重度の甲状腺機能低下症を引き起こします。このタンパク質触媒活性は、3,3',5'-トリヨード-L-チロニン + ヨウ化物 + A + H(+) = L-チロキシン + AH(2) です。機能: T4 (3,5,3',5'-テトラヨードチロニン) から RT3 (3,3',5'-トリヨードチロニン) への脱ヨウ素化、および T3 (3,5,3'-トリヨードチロニン) から T2 (3,3'-ジヨードチロニン) への脱ヨウ素化を担います。RT3 と T2 は不活性代謝物です。発達中の胎児組織が成人レベルの甲状腺ホルモンに早期に曝露されるのを防ぐ役割を果たす可能性があります。妊娠期間を通じて胎児の循環甲状腺ホルモン濃度を調節することができます。胚発生中の甲状腺ホルモン不活性化の調節に不可欠な役割。機能:T4 (3,5,3',5'-テトラヨードチロニン) の脱ヨウ素化を担う。類似性:ヨードチロニン脱ヨウ素酵素ファミリーに属する。組織特異性:胎盤およびいくつかの胎児組織で発現する。、

研究分野

画像データ



DIO3 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。



DIO3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析